

想 「プロバスケット観戦記」

町長 三浦正隆

三種町合併5周年を記念して誘致したプロバスケットボールbjリーグ公式戦の秋田ノーザンハピネッツと琉球ゴールデンキングスの対戦が、12月3日(土)、4日(日)の両日琴丘総合体育館で開催された。

bjリーグの公式試合を秋田市などの市でなく、町で開催するのは三種町が初めて。水野社長並びにbjリーグ関係者のご英断に心から感謝申し上げたい。

また、県のスポーツ合宿誘致事業と町のスポーツ・文化合宿等誘致推進事業を活用して来町した、大船渡市末崎(まっさき)中学校男・女バスケットボール部が、4日の公式戦前にはプロと同じコートで町内中学校のバスケットボール部と前座試合を行ったことは心に残る貴重な体験となったことと思う。

さて、今年のハピネッツはこれまで絶好調で、現在、東地区首位を走っている。「ひたむきに がむしゃらに『心を込めて』大胆にプレーする」を合い言葉に、有明コロシアムで行われるプレイオフ進出が目標。是非とも有明に行っていたきたい。対する琉球ゴールデンキングスも西地区の首位を走っており、トップチーム同士の激突だったが、結果は1勝1敗の引き分け。心配された入場者数は初日が1,809人、2日目が2,341人の大盛況。観客はプロらしい闘志溢れるゲームに終始引き込まれた。

また、試合の合間、合間にはチアリーダーによる華やかなパフォーマンスが演出され、大いに沸いた2日間であった。やはり、実際に見るのは迫力が違う。町内のミニバスケットボールチームと中学校バスケットボール部員約280人も無料で招待され、プロの迫力ある試合を観戦することができた。関係者のご配慮に感謝いたしたい。

今回の公式戦運営にあたっては、三種町バスケットボール協会会員や体育指導委員など多くの方々から、ボランティアとして入場者の案内や整理などにご協力をいただいた。心から感謝いたしたい。

合併5周年を記念して誘致したbjリーグは、多くの町民の方々から観戦して頂くとともに、関係者のご協力により無事終了することができ、大成功だった。心から感謝申し上げる。是非また来年も当町で開催いただくよう、町民みんなで誘致活動に努めたいと思う。



地域おこし協力隊レポート 12

地域おこし協力隊の山口健三郎です。

昨年の12月に委嘱を受けてから早いもので1年経ちました。皆さまからは協力隊の活動にご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

1年目は手探りで様々な視点から上岩川の可能性について考察してきました。考察の結果、地域おこしというよりも地域維持のための活動を重点的に行う事との考えから地域維持活動を実験的に行って来ました。1年間の活動を通じ、上岩川は稲作と林業に特化している地域であり、これらの産業を継続する事を地域の皆さまが望んでいる事もわかりました。

現状と住民環境をふまえ、今後2年間の活動方針が決まりました。主な支援内容は、生活維持活動として「高齢者見守り」と「農業支援」となります。

今後の活動方針の決定を受け、12月中旬より民生委員の方がたと共に、特に見守りが必要な高齢者世帯への訪問をしました。雪寄せ等の支援はこのような方がたを中心に行う予定です。

冬期間の余暇支援として、上小利活用協議会主催の映画鑑賞会の名作劇場、そば打ち体験を行いました。大きなスクリーンを備える施設がありますので、それを有効活用し映画鑑賞が出来るようにしたものです。自宅で見ると映画も良いですが大画面と大音量で見ると映画も楽しいものがあります。この映画鑑賞会は上岩川地域センターにて3月迄の毎月1回第2土曜日に実施する予定です。上岩川以外の皆さまのお越しもお待ちしております。

本格的な冬を迎えました。体調管理に十分気をつけ新年度も活動して参ります。引き続き宜しくお願い致します。